

日時：  
学校名：  
展開学級：  
授業者：

1 単元名 Where is your treasure? (Junior Sunshine5 Lesson5)

2 単元目標

- 道案内の仕方や位置関係の表し方を理解し、伝えたい場所や位置などについて尋ねたり答えたりすることができる。 【知識及び技能】
  - 互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】
  - 互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】
- ※なお、本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

3 単元について

本単元の目標は、小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編第2章第2節英語の目標（3）話すこと [やり取り] ア「基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。」を受けて設定する。地図をもとに宝物を見つけるために、道を尋ねたり、とっさの判断や直感で相手に対応しながら道順を伝えたりする活動を通し、相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目的とした単元である。

子供はこれまでに、第4学年の外国語活動 Unit8”This is my favorite place.”の学習の中で、校内の自分のお気に入りの場所について紹介したり、“Go straight.”“Turn right/left.”“Stop.”の表現を聞き、目的地を探す活動を行ったりしている。第5学年の Lesson4”Can you do this?”では助動詞 can を使い自分自身や友達ができることを伝え合う活動を行った。単元を通して、「クリアヴォイス」「リアクション」「アイコンタクト」「スマイル」の頭文字をとった「クリアイス」を意識して話すように声をかけている。本学級の実態は、道案内の仕方や位置関係の表し方を理解している子供が多いとは言えない。また、目的・場面・状況に応じて、思考・判断し表現する力をさらに高めていく必要がある。自信をもって言語活動に取り組めるように指導を重ねている段階である。

そこで、本単元では、互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりするという単元末の活動を設定する。子供が自信をもってやり取りできるように、単元末の活動を見据えた帯活動をする。毎回違う簡単な地図を用いて、任意の宝物の位置まで案内するやり取りを、相手を変えながら繰り返し行う。主に使う言語材料は一定で、場面・状況を変えて繰り返し活動を行ったり、簡単な地図から徐々に複雑な地図へと変えていったりすることで、子供が自信をもって英語を話せるようにしたい。なお、その際は、道案内の活動の中で使う表現や反応の例を冊子もとに Really?や Thank you.などの反応する表現もどんどん使っていくように声をかけている。

本時では、道案内の場면을意識させながら、特有の表現を聞いたり話したりする活動を繰り返すだけでなく、話の流れに合わせて、リアクションやあいづち、確認などの表現を使ってやり取りをする活動がある。その活動を通し、互いに伝えたいものについて知り合うために、相手のことを考えながら、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしようとする力を育てていきたい。

#### 4 児童の実態 割愛

#### 5 研究テーマ・視点について

##### (1) 研究テーマ

学びのつながりを意識した、「伝える力」をのばす指導と評価

##### (2) 視点及び手立て

###### 視点1 学びのつながりを意識した学習活動の工夫

###### ○単元を通しての評価の冊子づくり

子供同士のやり取りの際、振り返りを行うことで、より相手を意識したやり取りを促す。その際、子供自身が振り返るためによりよく道案内をするためのリアクションの例を示した冊子(コミュニケーションの宝箱)を、単元を通して作成する。確認したり、リアクションをした時の感想などを記入したりしていく。それをもとに、友達とのやり取りについて良かった点を伝え合う。そうすることで、客観的に自身の道案内の仕方について知り、も自信をもつことができ、進んで伝えようとする意欲を高めることができると思う。

また、子供同士のやり取りを1度行った後、全体で子供の発表をもとに道案内の振り返りを共有する。その共有したことをもとに、再度、他の友達に道案内をすることで、より改善を図ったり、道案内をしてもらう側も、相手を意識して聞いたり、反応したりすることができるようになるだろうと考える。

###### 視点2 「伝える力」を伸ばすための指導と評価の工夫

###### ○単元末の活動を意識した帯活動

道案内の場面は、場面設定を工夫したり、場면을意識させながら特有の表現を聞いたり話したりする活動を繰り返すことが大切である。

そこで、毎回違う簡単な地図を用いて、任意の宝物の位置まで案内するやり取りを、相手を替えながら繰り返し行う。道案内の動画を見たり、英語表現に合わせて動作化をして歌ったりしながら覚えた表現を、帯活動の中で、子供自身で簡単な地図をもとに話すことで、道案内の表現に繰り返し触れることができ、定着できるだろうと考える。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 道案内の仕方、位置の表し方、 I want to go to ～./Where is your treasure? /You can see it on your ～. It's on/in/under/by the ～./Go straight. /Turn right/left.などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 道案内の仕方、位置の表し方、 I want to go to ～./Where is your treasure? /You can see it on your ～. It's on/in/under/by the ～./Go straight. /Turn right/left.などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしている。</p>	<p>互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしようとしている。</p>

7 指導と評価の計画

時	目標				評価規準 <評価方法>
	主な学習活動	知・技	思・判・表	態度	
1	建物や施設の語句と道案内の内容を聞き取ることができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's Listen1】 p.38</li> <li>・教師とA T Lのやり取りを聞き、宝物までの道案内の言い方を知る。</li> <li>○【Let's Chant1】 p.38 建物チャンツ</li> <li>・施設を表す言い方を知る。</li> <li>○宝物への道案内をする活動の見通しをもつ。</li> </ul>				本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。
2	道案内をする英語を聞いて目的地がどこかがわかる。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's Chant1】 p.38 建物チャンツ</li> <li>○【Let's Play2】 p.39</li> <li>・道案内する英語を言ったり、英語に合わせて体を動かしたりする。</li> <li>○【Let's Listen2】 p.39 英語を聞いて、目的地がどの施設なのか答える。</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> </ul>				本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。

3	<p>道案内をする英語を聞いたり、言ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's Chant1】 p.38 建物チャンツ</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> <li>○【Let's Listen3】 p.40</li> <li>・英語を聞いて、登場人物が行きたい場所を線で結ぶ。</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> </ul>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。</p>
4	<p>宝物への道案内を聞き、目的地がどこかわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's Chant2】 p.41</li> <li>“Where is your treasure?”</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> <li>○【Let's Play4】 p.41</li> <li>・指導者の聞き、選んだ宝物が何か当てる。</li> <li>単語を書き写そう。 p.94, p.95</li> <li>○【Let's Sing】</li> <li>・abcd Song (アルファベットの音) を歌う。</li> <li>・指導者が言う単語のカードを選ぶ。</li> <li>1 見本を見ながら小文字で単語を書き写す。</li> </ul>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。</p>
5	<p>位置関係を表す英語を聞いたり、言ったりできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> <li>○【Let's Chant3】 p.42 on the desk チャンツ</li> <li>・P43 の絵を使い、位置関係を表す英語を用いたポインティングゲームをする。</li> <li>○【Let's Play6】 p.42</li> <li>・自分が大切にしたいものがどこにあるのか尋ねたり答えたりする。</li> </ul>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。</p>
6	<p>グループになって宝物への道案内を聞いたり行ったりできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【Let's Chant2】 p.41</li> <li>Where is your treasure? チャンツ</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> <li>○p.44</li> <li>・誌面(p.44)にある施設を確認する。</li> <li>・グループごとに目的地となる宝箱を決め、そこまでの道案内を伝え合う。</li> <li>単語を書き写そう。 p.94, p.95</li> <li>○【Let's Sing】</li> <li>・abcd Song (アルファベットの音) を歌う。</li> <li>2 指導者が言った順に単語カードをならべ、その順に書き写す。</li> </ul>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、子供の学習状況を確認しながら、目標に向けて指導を行う。</p>
7	<p>宝物への道案内を表す英語を読んだり、メモをもとに、道案内をしたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ (道案内)</li> <li>・指導者の話に反応したり、道案内について考えたりしながら聞く。</li> <li>○【Let's Chant3】 p.42 on the desk チャンツ</li> <li>○【Let's Read and Write】 p.45 ・コマンドメモ (道案内が書かれたメモ) に矢印 や数字を書き入れ完成させる。</li> <li>※用意した絵地図をもとに行う。</li> <li>◎簡単な地図をもとに、友達を宝物の場所まで案内する。</li> <li>単語を書き写そう。 p.94-p.95</li> <li>3 単語を聞いて、頭文字の小文字を書く。</li> </ul>	や		<p>道案内の仕方や位置関係などの表現を用いて、伝えたい場所や位置などについて尋ねたり答えたりしている。</p> <p style="text-align: right;">&lt;行動観察&gt; 【知・技】</p>

8 (本時)	わかりやすく宝物への道案内をして、自分の宝物について伝え合うことができる。	
	○【Let's Chant2】 p.41 Where is your treasure? チャンツ ○【Let's Try】 p.46 ※用意した絵地図をもとに行う。 ・宝箱への道案内をして、宝物について伝え合う。 ○単元を通しての振り返りを行う。	や や 互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしている(しようとしている)。 <行動観察> <冊子への書き込み> 【思・判・表】【態度】

## 8 本単元で扱う語彙・表現

### 【新出】

表現： I want to go to 場所. Where is your treasure? You can see it on your 方向.  
It's [on/in/under/by] the 場所・物 ※Go straight. ※Turn [right/left].

語句： park/bank/police station/department store/hospital/supermarket/past office/gas station/  
bookstore/fire station/pet shop/sports shop/flower shop/convenience store/restaurant/station/  
※library/※school  
※が付いた表現や語句は、Let's Try!2 にも出てきているが、子供がそれら用いて表現することは本単元が初めてなので、新出扱いとする。

### 【既出】

語句： 色[red/purple/black/white/blue/yellow/green]  
動物[dog/cat] 方向[right/left]

## 9 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしようとする。 【学びに向かう力・人間性等】

### (2) 本時の展開 (8/8)

課程	学習活動と内容	教師の指導・支援 (○) / 評価の観点 (■)
挨拶 2分	1 挨拶をして、天気、日付などを確認する。 ・ Hello./How are you? ・ How's the weather? ・ What day is it today? ・ What is the date today?	○指差しなどをしながら、何について答えればよいか、考えやすくする。 ○4線の上に天気、月名、日付、曜日を発音しながら書くことで、言葉と音を一致させる。 ○単語と意味が一致するように、単語の近くに関係するイラストを掲示する。
復習 2分	2 Let's chant で歌いながら、道案内の表現を確認する。	○チャンツを用いて道案内の表現に動作を付けて歌うことで、道案内の表現に慣れ、習得を促す。
導入 1分	3 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">わかりやすく宝物への道案内をして、自分の宝物について伝えよう。</div>	

5分	<p>4 教師と ALT のやり取りを聞き、道案内、位置についての表現を確認する。</p> <p>T1: Hello. T2: Hello. T1: Look! This is my treasure. Secret! T2: Wow! Where is your treasure? T1: OK! Let's Go! Go straight. ... You can see it on your right. It's on the table.</p> <p>※T1 と T2 は、やり取りの内容に合わせてリアクションをする。</p> <p>T2: This box? T1: Yes! T2: What's this? T1: It's my snowboard! T2: Great! T1: Thank you.</p>	<p>○テレビに宝物までの地図を映し出し、話の流れに合わせて矢印のマーカを掲示することで、道案内と位置を表す表現を確認しやすくする。</p> <p>○やり取りが終わったところで、大まかな内容や英語表現を確認し表現に合わせた絵カードを掲示することで、目的や場面の把握をしやすくする。</p> <p>○確認したことをもとに、もう一度教師と ALT のやり取りを聞き、表現を確認できるようにする。</p>
3分	<p>5 自分の道案内の練習をする練習する。</p>	<p>○ALT の反応を確かめながら、道案内をするように声を掛ける。</p> <p>○ALT が聞き返したり、反応したりするしぐさを確認したりして練習することで、道案内、位置についての表現、相手に合わせて道案内をすることに慣れる。</p>
展開 8分	<p>6 隣同士で道案内と宝物について伝え合う。</p> <p>S1: Hello. S2: Hello. S1: Look! This is my treasure. Secret! S2: Wow! Where is your treasure? S1: Go straight. ... It's on the table.</p> <p>※案内に合わせてリアクションをしたり、相手の状況に合わせて質問したりする。</p> <p>S2: This box? S1: Yes! S2: What's this? S1: It's my soccer ball. S2: Great! S1: Thank you.</p>	<p>○冊子のリアクションの仕方を例に、自分たちのやり取りについてよかった点について伝え合うことで、自身の道案内や尋ね方に自信を持たせる。</p> <p>○役割を分けて机間指導を行いながら、子供へ助言を行う。</p> <p>■互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりすることができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〈行動観察〉</p>

5分	<p>7 友達のやり取りを見て、良いところやよりよく伝える表現を全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にわかるように、はっきりとした声で話すといいね。</li> <li>・お互いに話の終わりに Thank you. と言えるといいよね。</li> <li>・相手が分かっているか確認をしながら道案内をするといいよね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供とのやり取り見た後に、良かった点と、よりよく伝え合うために何が必要かを全体で確認し、自己調整を促す。</li> <li>○やり取りのポイント(クリアヴォイス、リアクション、アイコンタクト)を全体で共有することで、子供のやり取りに生かせるようにする。</li> </ul>
8分	<p>8 共有したことをもとに、違う友達に道案内をし、宝物を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問してくれたから、うまく伝えようがんばれたよ。</li> <li>・OKと言ってくれたから案内をされていて安心したよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手を変えながら繰り返し道案内のやり取りを繰り返すことで、友達と話すことに抵抗をもってしまう子供でも話す機会を作り、やり取りができた経験を増やす。</li> <li>○相手が変わる前に、やり取りについてお互いに振り返ることで、自己調整を促す。</li> <li>■互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりすることができる</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〈行動観察〉</p>
振り返り 8分	<p>9 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の始めの時の振り返りと、本時の単元の振り返りを比較させることで、自己の成長を実感できるようにする。</li> <li>○教師とALTから、やり取りについてよかったところを伝えることで、子供の学習意欲につなげる。</li> <li>■互いに伝えたいものについて知り合うために、宝物の場所や位置などについて、相手にわかりやすく尋ねたり答えたりしようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 〈振り返りカードや冊子への書き込み〉〈子どもの発言〉</p>